



鳥瞰：既存建屋と同規模程度のボリュームで計画し、開口部等の意匠を踏襲することで敷地全体で意匠性の調和を図った。



北東外観：生産施設として合理的に計画を行いシンプルな外観とした。



北西外観：主ボリュームに跳ね出し見学廊下が付与された外観とした。

見学廊下：生産エリアの設備機器に合わせて天井高3.65mを確保し、間仕切りをフルハイトのガラスとすることで臨場感を演出した。

高田製薬株式会社 北埼玉工場 2号棟

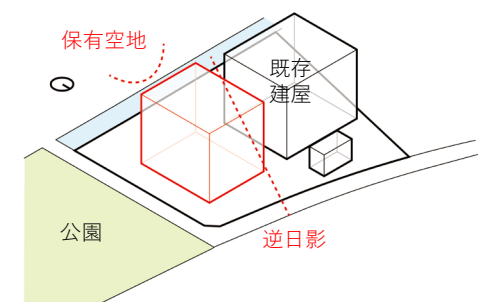
更衣レスの跳ね出し見学廊下

本計画は医薬品の製造受託を行う高田製薬株式会社の既存工場敷地内に、高活性無菌製剤が生産できる新たな工場を別棟増築する計画である。

高活性無菌製剤の生産は、建築・設備共に有効成分を暴露させない「封じ込め」対策が必要となる。一方、無菌製剤であるため外部からの汚染を防ぐ「封じ込め」とは相反する管理が必要となる。

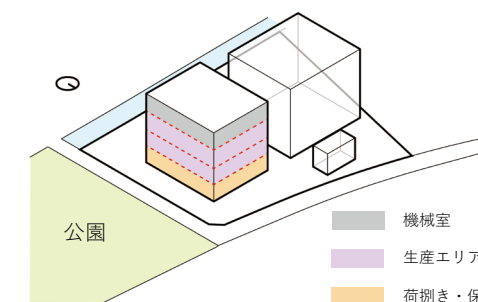
左記の施設用途上、商談等のため訪れた来場者は、幾重にも更衣しなければ施設を見学できないという不便さがある。

そこで、明確な区画分けによりクリーン着に着替えをすることなく、見学可能な見学スペースを実現し、高品質な生産機能を受託先へ最大限発信できる場を計画した。



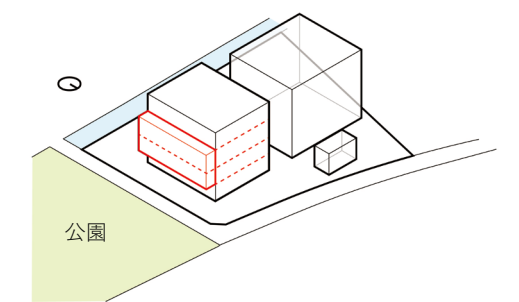
Step1：敷地条件

送電線の保有空地と、北側隣地の逆日影により最大ボリュームが決定した



Step2：プログラム

1階を荷捌きと保管室、2・3階を生産エリア、4階を機械室とし、合理的なゾーニングとした

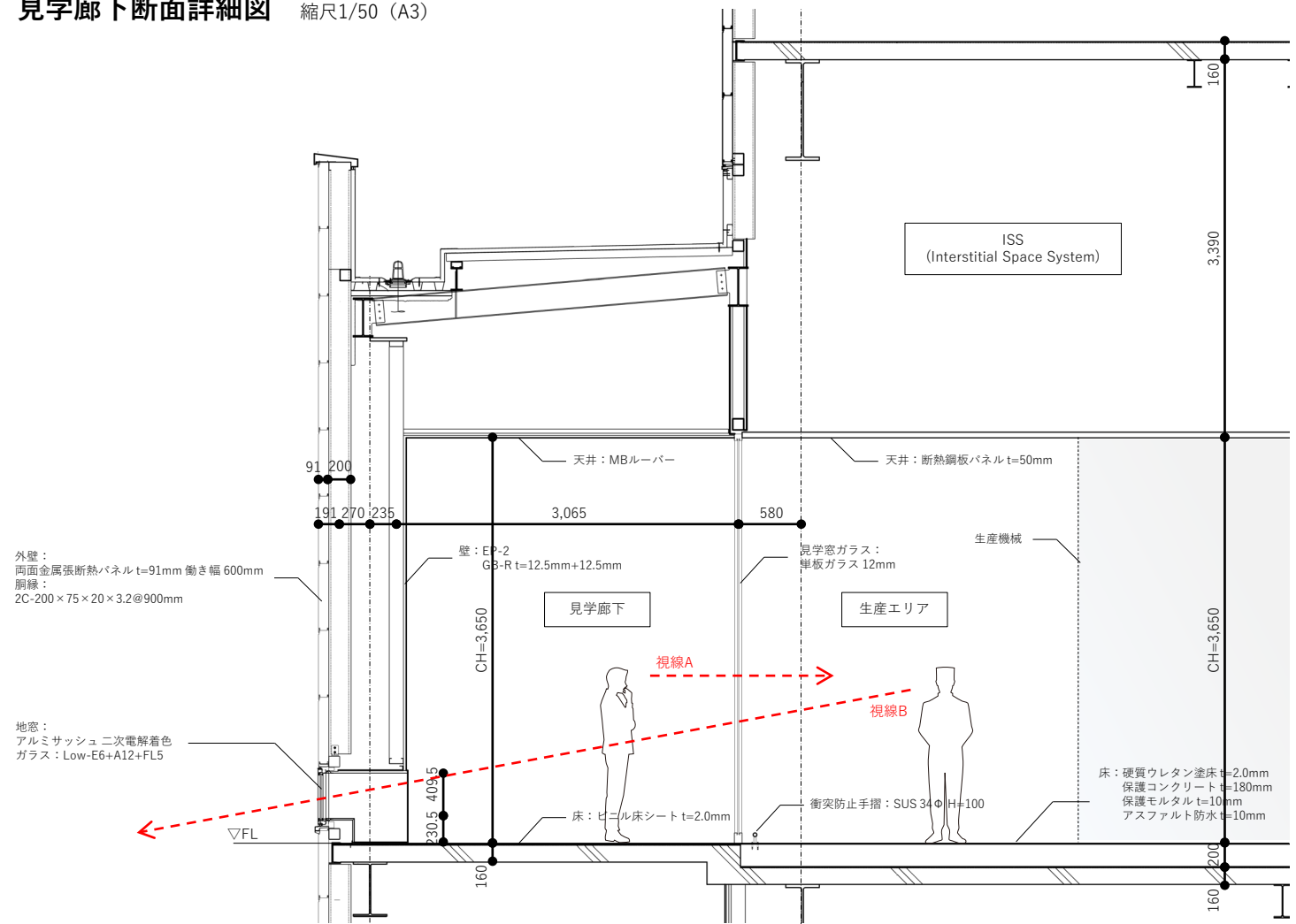


Step3：+αのソリューション

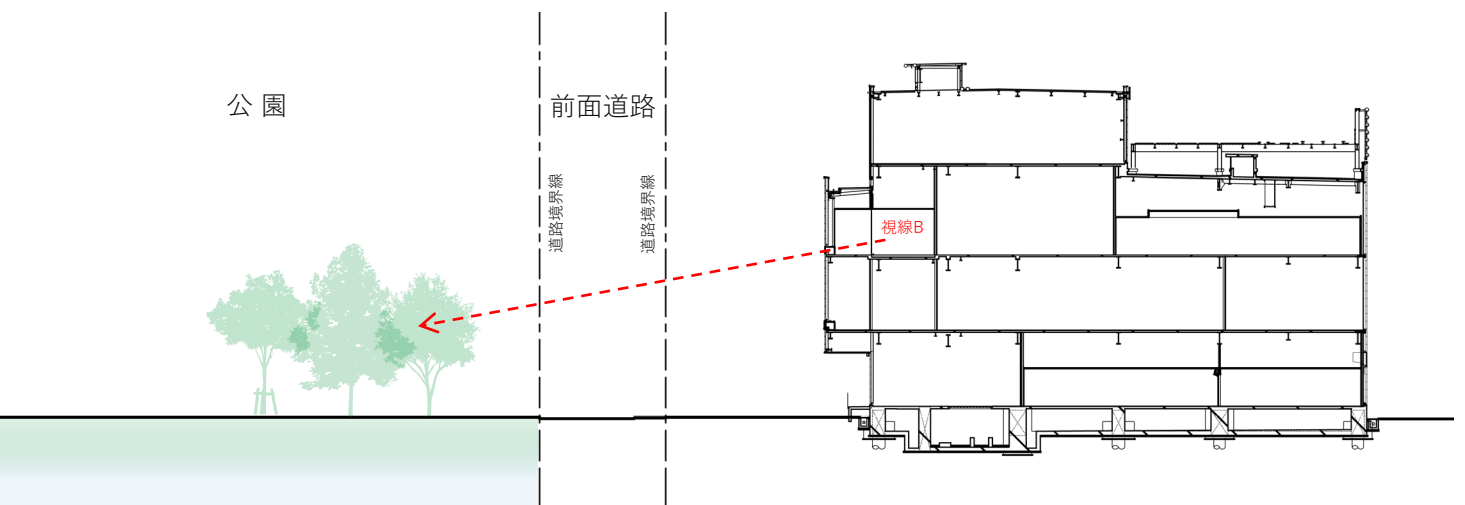
製造受託のため、更衣レスの見学廊下を実現することで、生産機能を発信する場を計画した



見学廊下断面詳細図 縮尺1/50 (A3)



広域断面図 縮尺1/600 (A3)



工学的なアプローチから導き出した内装カースキーム

「生産エリアで働く方々に対する眺望の確保」と「見学廊下側から見た見学窓ガラスの透過性確保」という二律背反する目標実現のため、「検証①見学廊下側の開口部高さ」と「検証②見学廊下の内装仕上げ反射率」をパラメーターとして、見学窓ガラスの透過率が高くなる条件を光環境シミュレーションによって検証した。その結果に基づき見学廊下の内装カースキームを計画した。

